第169号　1909. 7. 24.

明治十一年十二月二十日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の壹日休刊　明治四十二年七月廿四日（土曜日）第百六十九號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

雜報

氣象事業創立者逝去

幕末史に於て榎本大鳥等と諸氏と共に榎本を天下に聲したる荒井郁之助氏は享年七十八歳を以て去十九日東京に逝去せられたり同氏は故榎本子爵の旗艦回天の艦長として宮古函館等に於て官軍と鬪ひ遂に五稜郭に於て降服の後獄年間入獄の身となりしことは世人の普く知る所なり爾來政府は寛大なる所置を以て死を免じたるのみならず榎本等の諸氏と共に擧げられて職を開拓使に奉じ專ら北海道の測量事業に從事せり明治九年內務省に於て全國測量事業に從事したる外國人を悉皆解傭せしとき荒井氏は擧げられて本邦人測量家の指揮官となり傍ら氣象事業をも創始せられたり氏の老年を以て官職を辭されたるは明治二十四年にして在職中本邦測量氣象事業に貢獻したる所甚だ多大なるのみならず民間に在ては地學協會海員救濟會浦賀造船所等の事業に關しても亦功績頗る偉大なりしと云ふ因に仁川觀測所長和田技師の談に「荒井氏と相知れるは明治十二年にして氏の性行は全く學者風にして毫も金錢等に目を遮けず餘暇さへあれば英佛蘭和漢等の科學書を閲覽するを最大の快樂と爲せり氏は只に自身の讀書を以て快樂と爲せしのみならず他人をして讀書せしむることをも大に勉めたるか如く余は明治十二年末內務省地理局測量課に入て以來荒井課長は三年の間何の事務にも手を觸れしめず只歐米の新著を購入して毎日之を讀ましめられたり當時余は多少不平なりしも四五年の後愈事業に著手するに至て始て荒井課長の深意を知り實に今日に至るも其恩恵は決して忘却せず然るに今や此恩人を亡ひたるは實に殘念の至りに堪へざる次第なりと云々」

ハガキ文集

青楓

●病友へ

如何だ、ちと快いか。

雲山萬里を、一瀉千里と駈けて、君の傍に行つて見たいよ。

相變らず藥臭い病院の窓に、青い顔して呻れて居るのかい、什麼して、君はそんなに弱いのだ。

蟄居的療養をやめて、「箱根の山は、天下の險」と、大聲高唱して、千仞の谷、萬丈の山を跋渉して見てはどうか。

早く快くなつて呉れ、妹が心配して居るぞ。

●龍山の友へ

君、新らしい日本式の、二階家に移つたそうだね、甚だ羨望の念に堪ねんよ。

僕、相變ずのヒン〳〵でオンドルの中に褌一つの眞つ裸の生活だ、イヤハヤ、拂へども來る蝿軍の襲撃、蚊隊の夜襲、それに此頃、新手のビンデーときては、有難い僕も、さやうぢゃまいらざるを得ないね。

講談

第六席　桃川燕玉演

中山大納言

ユー前回に伺ひましたる通り松平越中守定信公天下の執政となりまして、世の中が一變して大分士の氣風も改まりました、何にせいうれ荒田沼親子で老若を勦ましたる時分、悉く風儀が紊れまして、苞苴賄賂を頓と用ゐられませぬ、されば其頃の落首に「世に遇ふは遊樂者に奢り者、ろくび藝者に山師運じやう」といふ、どうも追從輕薄の人が用ゐられまして、文武の兩道に達した天晴れな人も、世事に疎ければ世に出ることが出來兼ねて居りました、所が越中樣が御乘出しになりますとビシ〳〵惡い者を取つて押へ、一藝一能に達しました者は ドン〳〵御取立になりますから、心ある人は悉く之を喜びました、彼の寛正の三奇人といふ仙臺の林子平、並に薄生君平、高山彦九郎、此高山彦九郎など云ふ人は京都の疲弊を致して居りますことを大に憤りまして、德川將軍が武威盛にして朝廷を蔑ろに致し、誠に禁裡の疲弊を致したるは痛はしい限りだと、常に慷慨悲憤腕を切つて德川家の役人を恨んで居りました、越中樣が御乘出しになつて段々世の中が直つて參りましたので、高山彦九郎なぞは云ふ人は殊の外喜んで、まづ天下泰平の緒を開いたと云つて頻りに越中殿を譽めて居りました、此高山彦九郎といふ人は實に天下の豪傑でございます、中山大納言と殊の外懇意を致しましたので、後日彦九郎の御話は又申上げますが、偖京都に於ては天明の八年正月廿九日御歌會の當日でございまして、清涼殿に百官百司公卿方が御集會に相成り歌の御催しがございます、丁度盛頃でございまして俄に失火でムいまする、宮川町の鉋屋の辻といふ處から火事が始まりまして、非常の大火となつて、鴨川を超ねまして四條通りから三條通り松原通り、一面の火と相成りました、勿論其時分の事で、消防の設備とても今日のやうには進んで居りませぬから、何分にも此火を消し止める譯になりませぬ、之が爲め町奉行池田筑後守、伏見奉行京島信濃守、禁裏へ駈付けまして守護いたします、丹波の龜山の城主松平紀伊守在國でございましたに依つて此火の手を見ますると直ちに京都に駈付けまして、必死になつて消防に盡力致しましたが、益々火の手は盛に相成り、今里小路中納言、傳奏勘修寺大納言、廣橋大納言、千種中納言、萬里小路中納言、傳奏勘修寺大納言、廣橋大納言、正親町大納言、園白藤司殿下、清涼殿に溝があつた、其中にコロ〳〵と轉がり込んだ、頭からまるで泥鰌のやうになり、這ふ〳〵と一聲の馬聲を揭げて眞一文字に乘込んで參りました一人、白星六十四間の筋入つたる緞帽巾、黑羅紗に立波を縫はしたる丸事羽織を着致し、立派な武士、主上御動座の御道筋と心得、其方かないに依つ一指火をもつて迷に主上は御立退き遊ばすやうに」と云文字に乘込んで參りました一人、白星六十四間の筋入つたる緞帽巾、黑羅紗に立波を縫はしたる丸事羽織を着致し、立派な武士、主上御動座の御道筋と心得、其方が、さすが京都は歌の公卿衆は鴨氣なもので、熟々と燃上る火勢退り居らう」と大音に御叱り遊ばした。當時多くの公卿方の中で中山愛親卿は御勇氣無双に勝れ、勤王慷慨の御方で在つしやるハツと驚いたのは彼の士、是則ち御城番植田主水といふ者。主上御臨幸の御道筋と承はり、中山卿に叱られたので吃驚仰天に及び、榜を見ながら歌を詠んだ。風早大納言が「風時多くの公卿方の中で中山愛親卿は御勇氣無双に勝れ、勤王慷慨の御方で在つしやる」と遊ばした、火事の最中に鴨

▲怎樣半袴帶上其他組類各種　京城南大門一丁目　▲ふり德商店

京城新報

宣教師の苦境

韓人態度の變更

英米其他の宣教師が韓國に於て其布教に從事し、宗教、道德、教育、社會上に貢献したる所のものは決して少しと云ふ可らず、而して從來韓人よりは保護者として良友として多大の尊敬を拂はれ居りたるも、近時に於ける時勢の變遷は韓人の此等宣教師に對する態度を一變せしめたり、未信徒は勿論其信徒に至るまで宣教師を排斥するの傾向を呈し來る、是れ抑も何により斯る現象を見るに至りし乎。

今更云ふ迄もなく宣教師等の使命は傳道にして、耶蘇教の教義を韓人に宣傳し且つ耶蘇教の精神に基き博愛、慈善事業として學校を起し、病院を建設し以て韓人の福肉を改良發達せしむるにあり、是故に宣教師に対して其爲す所に私心なく、韓人にして之を受るに私心なくんば未來永劫宣教師は韓人の爲に保護者として良友として尊敬且歡迎せらるべき筈也、然るに近來に至り彼の信徒及未信徒の宣教師に對する態度の一變したるは抑も何に原因するか、說者あり曰く韓人にして從來宣教師に從い教會に加はり其教を奉じたる所以のものは彼の宣教師等に一點の私心なき事を信じたりしが爲也然るに近來に至り其保護者たり良友たりと賴みたる宣教師等は何故か表面に於て何等異る所なきも心理に於ては日本の意を迎へて事每に韓人の不利益を計るの傾向あり爲に宣教師に對する態度を變するに至りし也云々と、或は然らむ、實際韓人の宣教師に對する態度の變化は著しきものあり、曩日米國宣教師某が歸國するに際し、從來ならば盛なる送別會多數の見送人あるを例としたるが、今回は更に此事なかりき、之を以て見るも如何に韓人の宣教師に對する態度の變化の著しきを知るに足らむ。

現時韓國に在る宣教師の境遇程可笑しきものはなし、彼等が曾て獨立の考にて韓人に臨み居りし時に方ては韓人よりは保護者良友として迎へられ、之と同時に其教會學校は排日思想の養成所也と日本人より見られたりき、今は之と反對に日本側の誤解を釋かんとして日本側に接近せんとすれば韓人側に於ては頼むに足らざるものとして排斥を受るに至る、素より宣教師等の日本側に接近する事の私心に非ざるは明なるも、感情の上より韓人等が嫉妬猜疑の眼を以て見れば私心あるが如くに見らるべし、茲に於て彼の俗諺の「あちら立てればこちらがたゝぬ兩方立てれば身がたゝぬ」と云ふ苦境に陷入れり、彼等が此苦境に立入り過ぎたる覺餘りに宗教以外の人事に立入り過ぎたるが爲ならずんばあらず、余輩は衷心より宣教師等に同情し且つ耶蘇教の福音が半島に輝くに至らんことを希望するもの也、是故前十一時統監府に於て發表さるべしと日電

（月曜日）

路透電報

佛國と瑞西との間に定期旅客運搬用飛行船使用の計畫なし目下準備中なり

東京電報

▲桂侯と歐州財況　桂首相は二十二日夜水町財務官以下各局長を招き歐州財政の狀況を聞取りたり

▲北海道補缺撰擧　北海道廳館廳外に於ける議員候補士補缺撰擧にては遠藤吉長衛氏當選したり

▲電氣局の新設置　電氣業發達に伴ひ從來の一課としては不便なるを以て遞信省にては今回電氣局を新設するに決したり（以上二十三日發）

雜報

●御諭旨と奉答文

既報の如く一昨二十二日午後四時より南山本願寺に於て開會したる愛國婦人會臨時集會は近來になき盛況を呈したるが當日の光景は爰に省き左に梨本宮妃殿下の御諭旨と同婦人會韓國本部長代理の奉答文を掲べし

御諭旨

茲に愛國婦人會韓國本部臨時集會に於て諸子と相見るは最も喜ぶ所なり尙將來益々奮勵の發展に努め我友邦の姉妹と俱に親睦和以て日韓兩國の幸福を增進せむことを望む

明治四十二年七月二十二日

愛國婦人會名譽會長　守正王妃伊都子

奉答文

本部臨時集會を開くに方り辱くも殿下臨あらせられ優渥なる御諭旨を賜はる會員一同恐懼感激の至に堪へず自今一層奮勵して會務の擴張を圖り以て御諭旨に副はんことを期す謹て奉答す

明治四十二年七月二十二日

愛國婦人會韓國本部長代理人

●兩殿下御成

廿三日の御動靜

兩殿下には明石參謀長の御出迎を受けさせられ廿三日午前九時村井少將、安藤砲附武官、渡邊武官を隨へ龍山軍司令部に御成あり大久保軍司令官以下將校一同を引見せられ後新築中の軍司令官々舍第六師團司令部歩兵第十三聯隊を順次御視察相成りたり

▲鍋島邸御成　兩殿下には二十三日午餐後午後二時より妃殿下の御兄君なる鍋島直暎氏邸に御成行にて成らせられたり

▲景福宮觀覽　兩殿下には同午後四時より景福宮御觀覽御歸途漢城美術品製作工場に立寄らせられ金銀細工部木工部染織部等を御覽ありたり

●新協約の發表

既報の如く二十三日農商工部に於ける觀察使會議は午前十時より大臣室に於て開會されたるが先づ趙農相、木內次官より訓示を司法樣委任に關する日韓新協約は廿四日午前十一時統監府に於て發表さるべしと日電

同地東北四里の地に於て賊を一と衝突其三

●賊徒討伐續報

江原道より千里憲兵分遣所上等兵一補助員二は六月二十三日同

（廿三日午後六時）至廿四日午後六時

●天氣豫報

南西の風曇

（月曜日）

雨殿下の御出發

既報の通り梨本宮兩殿下には安藤御附武官渡邊武官を隨へさせられ愈々途に就くべしといふ

●五電會社と監督廳

今般日韓瓦斯電氣株式會社が韓美電氣を買收し營業するに就ては內部の所管とするを至當と認め農商工部より當類等一切を內部へ引繼ぐ筈なるが營業に關する場合又は新會社設立定款變更等韓國の會社組織に關するものは其會社は農商工部に於て取扱ふ必要あり目下協議中なりと

●判檢事の狼狽

韓國裁判所の判檢事は司法權委任協約の成立を聞知し自分等は早晩罷免せらるゝものと速斷し過日示唆者を提出するものあり又辨護士等も寄々集會して今后の成行に處する方法を研究し居りしと日電は報せり

●敎育の普及と費用

二十一日學部に於ける觀察使會議の席上各觀察使の希望したる實業敎育及初學敎育の普及、敎員養成所及講習所の設置、道視學の新設等は昨紙報道せしが右につき必要な經費の件に就き各觀察使の意嚮は來る九月より實施さるべき地方費の中殆んと全部は從來敎育の爲めに支出されたるものなるが同法の精神よりして其全部を敎育費に充出する能はざるを以て結稅及戶稅に附稅を賦課し以て敎育費の補給を希望し居れる由なれば內部は度支部と協議の上相當の處置に出づべしと

●各銀行の金利

京城各銀行の貸付金利子は左の如し

	最高	最低	普通
	厘	厘	厘
第一銀行	三〇	三〇	三〇
百三十銀行	三五	三三	三三
四五	三〇	三三	三三
第十八銀行	三九	三三	三五
六〇	三五	四五	四五
大韓天一	五〇	五〇	五〇
漢城銀行	四〇	四〇	四〇
韓一銀行	五〇	三七	

●韓銀と東拓關係

昨今韓國銀行の營業條件と東拓會社の營業條件とか相衝突するものあり兩者の間に交渉中なりとの事に對して東拓理事長は曰く韓國銀行營業條例も未だ草案成りたるにあらず況んや同一の監督官廳の下に存在すべき二會社に同一の營業を營ましめ事業の困難を招くが如きことは萬々あらざるを信ずと云々との談話のまゝなり

●三井物產人蔘落札

度支部にては廿三日午前十時より人蔘專賣の競爭入札を爲したるが之に加はりし入者は三井物產會社及清商孔憲甫にして清國總領事館より是は陳錫璋官立會の上入札を執はしたるに關票の結果僅かに一圓の差異に過ぎず清國の結果は直に電報せしたるに對し三井物產會社に落札したるが此の入札は向ふ五ヶ年間に亘る大取引なりと今其の結果を示すは左の如し

紅參	一斤	八十二圓三井
	一片十	五十八圓同上
喫參	片廿片	五十一圓同上
	三十片	四十八圓同上
	四十片	四十一圓同上
	五十片	三十六圓同上
	三十六圓同上	三十一圓同上

以上の結果に於て三井物產が向ふ五ヶ年間に於て拂ひ受くる量片は本年度紅參及喫參各三千斤二目各二千五百斤三年目各二千三百斤四年目各一千五百斤五年目各一萬斤なりと云ふ

慶邱間道路竣成期

目下修築中の大邱、慶州間の道路は本年中には慶州燒瓦工來年五月迄には全部竣成すべしと

京畿道民籍調査期

京畿道に於ける民籍調査は來る九月より開始すべしと

●トロール漁業現況　釜山を根據地としてトロール漁業に從事せる萬生丸最近の漁況を聞くに去る六月二十五日より七月十四日迄六回に爲したる漁業に於て其漁獲物はアカムツ、鱈、ニベ等四千一百貫にして代金は九百七十七圓三十二錢五厘なりと

●松井局長の御見送　桜井警務局長は梨本宮兩殿下御見送の爲め二十四日午前九時兩殿下に隨伴して釜山へ出張すべしと

●忠南物產陳列場　忠淸南道觀察道にては物產陳列場を設け廣く內外の物產を集め觀覽せしめつゝあり之しか今回其規模を擴張する筈にて目下準備中なりと

●舊白銅貨回收額

舊白銅貨引上開始以來客月末日迄の回收額は合計三億七千九百四十四萬六千〇三十六枚此の回收資金九百二十一萬千〇四十二圓の多き額に達し成績良好なりと

●六月鑛業出願種別　六月中鑛業出願種別左の如し

▲金鑛江原一平安七計八▲黑鉛江原一平安六黃海一計十三▲金銀忠淸一平安三計四▲砂金京畿二忠淸三平安五計十合計三十五件にして種別にして黑鉛の十三を上位とし道別にして平安の二十五件首位を占む

●全州の桑苗栽培　全州の種苗場に於ては桑苗の栽培を普及する爲め監督桑苗圃を作り地方篤農者に魯桑の種を配分し其栽培を監督する由なるが本年は既に蚕付を終れりと云ふ

●慶尙道　苗代育成時代は天候極て順適なりしより發育良好なりしが植付期に至り旱天打續きたるより挿秧困難にて種々の方法により漸く一部の植付をなしたるが本月に入りてより時々降雨あり殊に一日の如き豪雨至りたるより概ね植付を了せりたゝ慶尙北道尙州醴泉地方に僅かに三分を植付せしのみなるに其後旱天打續き今後降雨あるにあらざれば稻苗枯死すべく農民落色あり又麥作は育成時代氣候順良にて豐作を見て一萬圓位の小資金にては產業發達を助成せしむるに足らざるを以て結果に於ては六十四萬千九百九十九圓にして之を前年度の同期に比し一割內外減する豫想にて南道は山間地方民の依賴心を增加せしめ資金の發達を沮害するの結果に終らざるやと憂なるなり云々と

●叙任辭令

（統監府辭令）

三級俸下賜　松井茂

一級俸下賜　慶北警察部長　湯淺秀富

同　咸北警察部長　關谷勇

公人私人

▲礦田勇治（內部技師）佐藤（投宿中二十二日仁川へ

▲安藤靜（內閣法典調査局事務官補）二十二日入京三ヶ月へ

▲上林敬次郎（開城巡査部長）同日入京

▲林敬次郎（開城巡査部長）同日入京

▲長谷部言人（京大醫科大學敎授）同日入京浦尾へ

▲今村輔（江原道警察部長）同上

▲藤原八十八（警察部觀察官補）同上

近事片々

▲東京　附近の暑熱は昨今九十八度に達し近年稀なる暑さ也と併し土用の照込は肝要も霖雨止て暑氣頓に加はる雨後の暑氣は身体に腐へる此際最も衛生が肝要也

▲京城　炎熱も今暫らく所謂土用半に秋風を吹くで暑しと今之を言ふ間に秋風扇殺し來らむ宮兩殿下には一昨廿二日夕南山の涼風徐ろに吹來る頃和將臺に臺隔あらむ

▲梨本　而も兩殿下にて居留民を引見し玉ふ屑留民の光榮之に若くはなしあなる喜ばしき事

▲御臺　臨の御紀念として若松を御手植遊ばさるる我僑居留民の爲此上なき好箇の紀念

▲韓國　人に對して親族法相續法は蘊蓄所よりて制定笞刑も亦存置せんと梅博士語る

▲左も　あらむ韓國人には日本其他のものを適用するには早し特別法を設るが至當也

▲笞刑　は野蠻の制なれども韓國の如き程度の國民には或は之を存置するの要あらむ

▲文明　式に餘り輕きに失する勿れ若し我國民と同一視すれば大なる誤謬となるべし

▲久し　く行惱みたる安寧線問題も漸く解決せしと云ふ機樣也と是れ强硬談判の効力ならむ

▲從來　清國でも韓國でも總ての談判事が强硬に出でざれば決せざるの傾あるは慨し

▲此間　の消息を能く知りながら我が外交は何時も手緩く對手に致さるゝは甚だ遺憾

▲東亞　興業會社には岩崎住友の兩家反對也と期待くては同社の前途も甚だ面白からず

▲桂首　相や小村外相が折角に肝煎るも新る小規模の者では到底列國とは對峙し難し

▲殊に　大倉組鴨厄敎濟拓の評判面黑から

▲韓國　開發に苦し東拓をして其資力を清國に延さしむべし併し重役の更任を要す也

▲佛國　內閣海軍廳敗問題にて深く靜觀

▲此間　內閣に比較して何の感かある美望の外なし

▲東京　赤坂住人島田某獨逸ク伯の飛行艇に優る理想の飛行艇を發明すと頗る快心

●顧客を愚弄する丸京吳服店（四）

▲逃れざる罪悪　前號の本記事は丸京吳服店が如何に紊亂せるかを證する爲め事一店員の私事にまで及びしは順序として止を得ざる次第なれば讀者幸るに之を諒とせよ筆者は清淨なる讀者に向つて嘔吐を催ふすが如き彼れ店員等の醜狀を寫したる罪を謝す、さて筆者は茲に丸京が大なる犯罪を作り居たる事實を發見したり、種々なる目論見を立てゝ阿呆客を釣込むに汲々たる彼れは左の如き吳服太物類賣約會規定なる者を組織し三月一日より實行したり

▲吳服太物類賣約會規定

一賣約五十人樣を一組とし受取金の義は一反(本)に付毎月金何圓何十何錢也宛何箇月分御出金被下候事

一物品渡し可申月日は當店に於て抽籤を以て相定め申候

一當籤の御方樣は物品御渡申上候節物品受取證印並に保證人御一名の御證明願上候

一御入用品類、御好に應じ色合、柄、品質、上下の都合も有之候に付御順番當日より三十日以前に御入用の品御注文被下度早速見本品持來仕り御寵に入れ候但し御入用品見本樣にて御意に叶ひ不申時は御好に任せ如何樣にも別織又は別染に御渡し申上候

一御契約の金額にて出來不申節は過上は御申付當時別に申受候

一御注文品相渡し掛込金額に過上有之候場合には早速精算の上御勘定可致候

一物品至急御入用の御方樣は御契約金額の六分即ち一圓の割合に御拂込被下候へば即時物品御渡し申上候但し物品受取證印並に保證人樣御一名の御證明願上候

一万一途中に至り掛金一箇月にても相滯り候節は物品渡し可申候但し物品金額の六分以上御掛込に相成居候時は充分御便利に御相談申上候

一途中にて違約の御方は掛込金高の内二箇月分(即ち金十圓)の御契約なれば金一圓手數料として申受殘額は本會滿會の節精算御勘定可致候

一御旅行等相成候御方樣には精々御便利に御相談可仕候

一物品渡濟の御方にして受取金一箇月にても相滯り候節は一時物品又は殘額に對する價格物御預り申置き掛金全部御拂込濟の上は何時にても渡し可申候也

右の如き規定に依り御召とか袴子とか縮緬とか仙臺平其他種々なる物品を五圓又は十圓二十圓、三十圓とかの價額表を作り二圓宛五ケ月賣は二圓宛八ケ月とかの定めとし多數の加入者を勸誘し月々店員をして掛金を集め第一期及第二期を締切るや引續き第三期（四月十日締切）第四期（四月二十日締切）を募集しこれ又多數の加入者ありたれば月々の掛金も又多額に集まり居れり、然るに茲

月々の加入者

圓宛

多數

多額

▲品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の土耳古、埃及金口烟草及葉卷各種大安賣卸小賣速に御來店御試み給へ見本無代　本町二丁目　直輸入商　日希商會　デーシーメチヤス

●藝妓に迷つて遣込み

▲北海樓福助の馴染客

三重縣四日市北條町五十一番地加藤善次郎次男加藤昌次郎(三)と云へるは昨年十二月渡韓し龍山執行精米所に雇はれ同所の販賣係を爲し居りしが何時しか茶屋酒の味を覺へ龍山北海樓に驚々通ひ同樓の福助に深く馴染を重ねしが元より僅かの給金を以ては思ふ樣遊ぶ事も叶はざれば茲に不量見を起し主家の役意先なる京城南山町川本商店より二百圓計り太平町國田商店より五十圓同町三浦陶器商店より二十九圓餘を受取り又同人の其知人京城本町六丁目七番戸雜貨商西崎嘉七(三七)より得意先を周旋を依頼されたるを奇貨とし已れが周旋したる精々御便利に御相談可仕候

一物品渡濟の御方にして受取金一箇月にても相滯り候節は一時物品又は殘額に對する價格物御預り申置き掛金全部御拂込濟の上は何時にても渡し可申候也

右の如き規定に依り御召とか袴子とか縮緬とか仙臺平其他種々なる物品を五圓又は十圓二十圓、三十圓とかの價額表を作り

圓宛

五六十圓

程爽へ居たり其他京城にては松葉、巴州亭、エミテー等にも屢々出入し尚は北海樓へは新俳優田宮貴雄、其他牧野某、高橋某等を連れ行きて遊興を重ね其結果遂に居堪まらざる始末となり去る十三日妻を置去りにして此事破害者の西崎が知る處となり南部署に訴へ出でたれば同署にては田宮貴雄の興行先なる開城其外平壤釜山等の各警察署へ照會したる結果遂に釜山第一銀行倉庫岩崎清次郎方に潛伏なし居るを同地警察署の手にて取押へ去る廿一日南部署に押送し來り目下取調中なるが各彼午後七時三十分頃喬町一丁目商業會議所前通行の際一匹の小犬政輝の左股に咬付き其儘逃走したるが狂犬には非らざるべしと

五六十圓

福助

北海樓

遣込み

藝妓

迷つて

欺的行爲

と云はずして何ぞや吾人は此際警官の嚴重なる取調を望む（續く）

金策

なしやると何等變る事なし彼れ九京は斯の如き事を爲して自家の商品を仕入れ或は其他のやり繰りを爲すものにして例令掛込みの終りにイカサマ者の品物を渡すとしても從來一度も抽籤なき以上は詐

月分

掛金

抽籤

賞籤

當籤

吳服太物類賣約會規定

吳服太物

吳服

丸京吳服店

清淨

嘔

犯罪

公平

注目

一人

資産

吾妻樓の情死

未遂

▲下駄屋の職人とぼん太

仁川は數鳥郎四吾妻樓にぼん太と云ふ女郎あり然るに人之れをぼん太と云はず下駄女郎とのみ呼ぶに之れは何か由來でもあるべしと聞いて見れば先月廣島から尋ねて來た前の情夫が下駄屋で今日此頃大騒ぎをして居る情夫も亦下駄屋で即ち仁川は新町一丁目藤廉屋の職人京都生れの三好長造(三)と云ふ色男なれば之れよりぼん太を下駄女郎とは呼ぶとなん閨話休題長造がぼんたと馴れ染めしは本年の始め頃に於て職人に似ざる大盡遊びをなすにほんたも大切に取扱ひしかば長造は迂頂天となり三日に揚げず通ひ詰めると云ふ有樣濫費で密會するとしても僅か十圓足らずの給料で好くもマー彼麼に遊べたものだネーと朋輩に不審かられたる程ありて長造はツヅト前より廓の金に詰り果て主家の帳簿も隨分誤魔化し居たるも今日此頃では二進も三進も行かぬ始末となりければ再昨夜吾妻樓に登樓しぼんたの部屋にて何事をか頻りに話し居たるが夜の三時頃茲所に至り出刀庖丁を手にして二階に登らんとしたるを折悪しくも中居に見付けられ奪ひ取られたれば何事もなく翌朝の別れを惜みて歸る途中共發刑事に引致せられ取調を受けたる果てぼんたと情死せん心算なりしことを自白したるが主家の金を費消し居る事に就ては目下尚ほ嚴重なる取調べを受け居たりと

吾妻樓

情死

資産を有し

相當の

相談の相談

相談

相談の相談

問

答

問

答

問

答

各種洗濯石鹸 専門製造販賣 用途 陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、湯屋 散髪、諸工業用

京城旭町二丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人部

●中等教育ある廿七、商年報酬多き不景氣なれば氏名在社（二〇一）

●年卅五多年電氣工務（女）（謄記精通）の經驗有り市内保證人有り相當處に屈はれたし氏名在社（二〇二）

●被雇度　簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舗等被雇度給料不望保證人あり

●小僧、十四歳以上十七歳以下のもの用　名至急入用　委細面談大濱門前遠藤洋服店

●下女入用　十六七歳より廿三四歳迄の紅葉の數名入用　南大門通

物件部

●行商人募集　石油行商人二十五歳以下身体强壮志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談

●英文代書　通譯懸屬　本町一の七五中村

●商品販賣員募集　午前十時前希望者本人來談あれ　本町一、三巴酒店裏武田質店（四一〇）

物件部

●夏向繁店　旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の繁店二箇所あり希望者は至急申込あれ　氏名在社（二九五）

●電話讓渡　格安又は月賦讓渡の相談に應ず　氏名在社（二九六）

廣告

●醫士開業向貸家あり　本町三丁目　貸化堂藥局（四一一）

梅毒專門 皮膚病一般 痔注射療法（不要入院）
京城南大門朝市場樓家旅館内
神戸資生院長
出張診察所 電話三百十二番
院長府立大坂病院專攻
元兵庫縣立福原駐梅病院醫長
醫學得業士 蘆田耕平
●資力乏しき病者には割引又は施療を爲す

統監府御用 諸官衙人力車 荷物荷造及運搬
伊藤組
本店 京城本町三丁目（電話四〇番）
出張所 同南大門驛構内（電話七三二番）

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸（元花屋跡）横小路
▲懇切の下宿▼ かめ屋

各學校御用品調達
諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類　印刷附屬品　印刷インキ　和洋書籍　防腐デシン　穀物食鹽　諸染料類
委托販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田紙命保險相互會社代理店
藤田合名會社
本店
出張所

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
韓國特約販賣店
米國ウオルサム時計
米國アンソニヤ時計
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店
時計卸商 喜多金光堂本店 仁川本町三丁目 電話七五〇番
時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話架設中

代理店
新井藥房本店 京城南門外三丁目九千百六十番（電話八四三）
新井藥房第一分店 京城本町四丁目三十七番（電話三四八）
新井藥房第二分店 京城南大門外三丁目七番（電話三四三）

MORITA'S HOTAM.
起死回生 寶丹
大學東校免許
明治年間醫學校醫學士 守田治兵衛
MORITA JIZEMI.
No. 29, Motoshiro, Sanchome, Tokyo, JAPAN.
商標 守田寶丹
發賣元 守田治兵衛本店
東京市日本橋區本町三丁目

登錄商標 塗擦 外用 治瘙藥
○せんしんたむし○なすす○せにがさ○いんきんたむし○しらくも○くさかぶり○すがさ○みずむし○ひせんがさ○かんがさ○しもやけ○うるしまけ
其他皮膚病一切に特効あり
右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓効あり從來此により同春幸福を得たるもの遠近老若其數頗る多し回春方諸治方の懇請默しがたく材料を精選し軟近の醫學に照らし加味鹽梅調劑を正確に調合し世の皮膚病に患める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候
調劑發賣元 韓國京城南部壽町 仩風堂 浦尾さち
●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 京場風に此に留意し良好の食料を給す

●弊場搾取の牛乳を受欲せらるゝ御諸君に最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし
京場本町五丁目（電四七番）
販賣元 仁川 松尾支店
京城東西新門 松尾牧場

軸物表裝　金紙障屏　顏面換一式　壁張天井張　古香堂 明治三十二年 大阪市福島区 山本平治郎

九州セメント 等生石灰販賣 京城南山町一丁目 電話三四四番
山村商店 龍山元町一丁目 電話三四八番
中村運送店

名譽銀牌受領 キリンビール

眼科專門 京城本町二丁目憲兵分遣所前 江頭眼科醫院 電話三三
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

◎氣候變化
◎牛乳 純良 消毒
韓國畜產株式會社 南大門外 電話八八番

東京本郷本町二丁目大那屋呉服店前
待春 日
本店電話九七番 ライオン月琴入
浅草公園八島樂隊
東京市本郷三丁目合名會社
電話三三九番

明治廿年七月創立 東京代辯店 本町四山口吳服店 電話九番
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓 ● 事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候
京城南山町四丁目
原金旅館 （電話長一〇七番）

萬 自製特約販賣 濱味醬 味噌 油 物 製造元
大 大上商店 京城本町五丁目 （電話一一五一番）
和洋酒、精酥、穀物麵類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尚御望に依り商品切手調進仕候

消毒 京城大和町壱丁目 元祖 牛乳 仁山牧場 殺菌 電話一三三

日通
貨物危險運送擔保取扱 貨物送付代金取扱品 貨物換引運賃取扱 税關附帶運送 內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一一番
草梁驛前 釜山出張所 釜山驛前 電話六一六番 草梁驛前 電話五三七番
龍山驛構内 龍山派出所 電話二〇六番
轉開業 病室設備 入院隨意 森田醫院 本町一丁目（京城郵便局前）電話九百十三番

★株式會社百三十銀行 韓國總支店 京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番
資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、
東山道 前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、鳥取、米子、松江、久手、大田、
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柳井、平生、下關、萩、德山、岩國、小口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、
南海道 串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷹、州本、鹽釜、德島、善通寺、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久條、松山、三津ケ濱、
北海道 函館、小樽、札幌、
臺灣 臺北、臺南、
清韓國 仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、
州、馬山、
銀行一般ノ業務精々便利取扱可申候

東京郵船株式會社 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店
釜山長崎清可神戸行
山東丸 八月 一日午後三時出
大連、太沽、牛莊行 八月 五日正午時出
高砂丸 八月 五日正午時出
大連、大沽、牛莊行 月 日正午
大連、大沽、牛莊行 月 日午前五時出
酒田丸 月 日正午
●釜山田帆、元山、清津、浦鹽行 七月二十八日午後
立神丸
●大連、大沽、牛莊行
●釜山、元山、清津、浦鹽行
注意 御乘船ノ際ハ稅關ヨリ可申候 送迎船ニテ御送リ可申候 迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ス

日本郵船株式會社 仁川海岸通 電話十番
貨物及船客取扱店
●東京、大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、鳥取、米子、松江、久手、大田、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柳井、平生、下關、萩、德山、岩國、小口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、
●東京、大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市、東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、鳥取、米子、松江、久手、大田、龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、柳井、平生、下關、萩、德山、岩國、小口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、
●東海道、東山道、北陸道、山陰道、山陽道、南海道、西海道、北海道、臺灣、清韓國